

検証 JR革マル浸透と組織私物化の実態！

民主化闘争情報[号外] 2010年1月7日 発行 日本鉄道労働組合連合会(JR連合)【No.79】

沖縄別荘の購入・建設資金をめぐる疑惑はさらに高まる！

松崎氏の沖縄の別荘購入の資金に関する「週刊現代裁判」の尋問における証言をさらに紹介していきたい。

(被告代理人)今帰仁の土地の上に建物が建ったと思いますが、この建物は誰の名義で建てたんでしょうか。(松崎)この名義はさつき商事だと思います。(代理人)さつき商事ですね。(松崎)はい。(代理人)それは、さつき企画の前身の会社でしょうか。(松崎)そう理解されて結構です。(代理人)ということは、あなたの奥様名義の土地の上にさつき商事名義の建物が建ったということですか。(松崎)そういうことです。(代理人)奥様とさつき商事との間で何か契約は締結したんですか。(松崎)いいえ、何もありません。(代理人)その建物のお金はさつき商事が出したんですか。(松崎)いいえ、違います。私です。(代理人)どうしてさつき商事の名義にしたんでしょうか。(松崎)私の名前を出すことには様々、殺すとか殺さないとか、いろいろ障害がありますから、私の名前は出さないことにしました。さつき商事の名前にしました。(代理人)奥様だけのお名前ならわからないだろうということですか。(松崎)そうです。(代理人)あなたとさつき商事との間では何か契約したんですか。(松崎)いいえ、しておりません。(代理人)建物の建築費はいくらくらいでしょうか。(松崎)そうですね...4,000万とかくらいかもしれません。(代理人)4,000万円のお金をさつき商事の名義で借りるに当たっては、何の契約もしなかったということですか。(松崎)そういうことです。(代理人)松崎さんとさつき商事とはどういう関係にあるんですか。(松崎)特別な関係はありませんが、さつき商事を私が作ったのではないんですが、私の前任者たちがさつき商事を作ったときに...役員をやっていたかどうか分かりませんが、ともかくさつき商事の名前を借りたんですね。(代理人)さつき商事は、例えばあなたの個人会社とかファミリーで持っている会社ではないわけでしょう。(松崎)はい、違います。(代理人)そういう会社であるさつき商事の名義で建物を建てるについても、特段何の契約もしなかったということですか。(松崎)はい、そうです。(代理人)その建物の建築費の原資はどこから出たんでしょうか。(松崎)ですから、それはポーランドのアンジェイ・ワイダさんに対する協力のために土地を売却して、その一部と、それから仲間たちが私だけに出させたということいろいろ出してくれたものと、株、講演料その他を充てたと思います。

これぞまさに「さつき商事」の私物化ではないのか！

松崎氏の説明によれば、別荘の資金は自分で出したが、命を狙われる自分の名前を出さないため、土地は妻名義、建物は「さつき商事」名義にしたということらしい。しかし、その代金は、前号で検証した通り、東労組などの口座や小切手から支払われているのだ。松崎氏は、これは、東労組にいつ預けたかもわからない5,000万円もの自分の資金だと説明しているが、果たして本当なのか。さらに、4,000万円(実際には諸費用を含め約5,300万円)の自己資金で「さつき商事」名義の建物を建てておきながら、何の契約もしていないというのだ。まさに「さつき商事」の私物化である。検証すればするほど、疑惑はさらに高まるばかりだ。このような話で、一般組合員が納得できるはずがないだろう。

この別荘購入をめぐる疑惑は業務上横領被疑事件の導入部分だ。さらに検証を深めたい。